

消化不良の 秩父山系横山



バス停の地図で確認

群馬県は、山の数が桁外れに多いだけに
 しっかりせざるを得ないのも分かるが、秩父にも
 もう少し標識がほしい。
 少々マイナーな山を選んだのも、此方も運が悪かった
 かも知れない。高度を上げるが一向に標識は無いの
 だが、例のピンクのビニールテープが所々に掛けて
 有り、踏み跡もあるので心配はないが、標識が
 ないのは、やはり心もとない。
 地図と部長と意見を組み合わせ、道を判断する。



分岐点での話し合い

地図に記された通り「コンクリートの道」だから間違いない
 と判断し、その急な坂を登り詰める、その頃には 12 時を回る。



そこから先も緩やかで、何の変哲もない
 木立の中の登りがしばらく続く。1 時近くまで
 歩く。

部長一人が 1 キロほど先まで見に行くが、
 頂上は暫く掛かりそうな事が判明する。

頂上を諦められない仲間、雑木林の中で「万
 歳」をし、ここを頂上に決める事で意見が一致、
 そこで記念写真をパチリ。頂上を作ったの万

歳は初めての事。参加者全員 1 時を回り、お腹が空き食事にしたかったのも頂上を諦めた一因に
 なる。自分たちで頂上を決める、こんなおかしな

登山は初めてだ。それにバスの時間も考慮すればそうせざるを得なく、こんな一風変わった
 自分たちで頂上を決めて万歳をした山となる。

気の合った仲間と自然の中で、一日過ごせたことだけで幸せを感じる間柄、
 登頂できなかった事を悔やむでもなく、笑いに

変えられる仲間になって居るのが良い。
危険をはらむような判断は、絶対しない事が鉄則。
今後は、こんな一風変わった山行が時々出る
のではと脳裏をかすめる。

山の出発は早い方が良い。交通手段の乗り継ぎ
時間を考え、仲間の体力も考慮し出発時間を決める。
その上に参加者の当日の足取りも、
影響してくる場合も出てくる。

1時間に1便のバスを常に考慮し、逆算し下山を決める。
それを間違うと、帰宅はかなり遅くなる。頂上を断念したことで、
今回は予定通り3時には皆野の駅へ到着する。
秩父鉄道に乗車すれば、今日の山の話にひとしきり花が咲く。
いやが上にも、次回予定の筑波山へと夢は膨らむ。



下りは足元に注意だ

4年間かけ、兄妹のような仲間に進化？

記 : 浅見
写真 : 横川